

●エッセイ 美少年とは何者か

中島らも

僕はかつて美少年にはまっていたことがある。三十年近くも前の話だ。僕の通っていたのは灘校という進学校で、中学高校一貫して男子ばかりである。女性といえば食堂のおばちゃんだけだ。

百五十人いる一学年の中に二人だけとびきりの美少年がいた。I君とH君である。

H君の方は明るくて無邪気な性格だった。

そのために周囲のざらざらした雰囲気を感じていなかったのだろう。ある日教室に入ると同級で身体の大きいSが、H君を開脚姿勢のまま持ち上げて、教壇の上に固定していた。その教壇の前には生徒の列ができていて、H君の開脚部をそれぞれ笑いながらひとりでしていくのだった。

H君は怒り笑いしながら、

「どうして！僕まだ十五なのに」

と叫んでいた。

僕？僕はH君を助けたりしない。どちらかというと教壇の前の列に遠い方だ。残念なこ

とにチャイムが鳴ったのだ。

僕とH君は帰りの電車が一緒でよく話をしたが、美少年というよりはむしろ「可愛い」印象のほうが強かった。H君は一種の天才で、古文の時間に内職で「タガログ語」を勉強したりしていた。天才だけれど、可愛いから、架刑にあってもまあ仕方がないな、と僕は冷たく納得したのだった。

もう一人の美少年はI君で、この子はほんとの美少年だった。

ある日I君とふと顔を合わせた瞬間、僕は胸がときどきした。前の日までは気づかなかったのだ。I君の目は少し脅えた鹿のようだった。曇ったようなまつ毛、薄バラ色の頬、小さな唇。ときどきした。

かといって、I君をどうしようという気にはならなかった。むしろ「どうこう」の仕方がわからなかったのかもしれない。何といっても僕らはともに十五歳だったから。

そういうことがありまして、僕たちは高校一年生になった。

学園紛争があつて、頭髮と服装の自由化がかち取られた（そう、H君もI君もそれまで丸坊主の美少年だったのですね。一休さんタイプ）。

それまで僕はY君と親友づき合いをしていた。Y君はおちゃめで、よく一緒に廊下に立たされたりしていた。ともに校内の掟破りで、アホの中島・スットンキョーのYの雷名がとどろいていた。

ある日他学級の生徒がこの雷名に興味をもって校庭に立ち、もう一人に

「どれが中島でどれがYだ」

僕はそのときちょうど枯れ枝の先に犬のフンがついたのを持って、Yを追いかけてまわしているところだった。

それを見たその生徒は、なるほど得心して、以降我々に関心をもつのをやめたという。そうやって僕たちはコロコロと遊びながら、中学三年間を過ごした。

一緒にギターを弾いたりもしたし、当時まんがブームだったので、まんがの描き比べもした。Yはちばてつやのファンで僕は白土三平ファンだった。この差は音楽の好みにも通じる。Yはビートルズファンで、僕はストーンズファンだった。つまり、Yは非常に優しい気質の少年だったのだ。

長い夏休みが終わって僕たちはみんな学校に戻ってきた。と同時に僕はYを見てドキツとなった。Yは一か月かそこいらの間に長髪にしていた。級友のみんながわいわいとYの髪を引っ張って遊んだ。

それまでのYはどちらかというとビーバーみたいな顔の少年だったが、髪を伸ばすとともにチャーミングになった。くりくりした目に少し出っ歯で、それがとても愛らしかった。

僕ドキドキはずっと止まらなかった。

僕はYに負けないように髪を伸ばし、二人で噴飯もののバンドを組んだ。決して二人の間に怪しい関係があったわけではない。いえばサイモンとガーファンクル（怪しいか）をめちやくちゃんにへタにしたようなバンドだった。

怪しいといえばひとつ怪しいことがあった。

学園祭で芝居をやるということになった。演目は「モモタロー」（笑うんじゃない）。平和な島の鬼たちを、モモタローがガトリングガンで皆殺しにするという心温まる物語だ（よく学校も許可したもんだ。なにせ紛争のあとだったからな）。

Yの役は鬼ヶ島のお姫さまだった。本人は激しくテイコウしたが、衆人一致で決められた。

本番の前の日になって衣装が届いた。

狭い化学部の部室で全員が試着してみた。

僕のモモタローの衣装は実によく似合っていた（そう僕はモモタローだったのだ）。

何人かが手伝ってYのお姫さまができた。シンデレラみたいな服でなかなかの美姫であった。

と、全員が静かになった。

部室の全員がYを見つめているのだ。

“はっはっはっ”と息を荒げている者もいる。

Yはさすがにこのブキミな雰囲気気がついて、

「な、何なんだ、お前ら」

その言葉を合図に全員がYに襲いかかった。Yは集団の下でもみくちやにされてわあわあ騒いでいたが、そのうちに一人がはっと、われにかえったのだらう。

「やめようやめよう。ばからしい」

この一言で全員がばらばらになり、半泣きのYを残して、今の一件は「なかったこと」になった。

男子校における美少年とはそんなようなもので、少女まんがにおけるそれとはかなり違う。が、少女まんがが本質をついている部分も多々ある。

「11人いる！」のフロルは性が未分化の状態にある。両性具有なら「ホトケ様」の性だが、両性未分化というのは違う。少年、少女の性だ。

次に。Y君はなぜ突然部室で襲われるまでの美少年になったのか。

髪の毛である。Yは未分化の上に長髪をまとうことで女性性を獲得したのだ。

フロルの登場シーンを見てほしい。ヘルメットからまず豊かなブロンドがこぼれ出し、フロルの美しい顔が現われる。それを見て全員が女性だと騒ぎ出す。フロルもまた女性性（髪の毛）を冠にして、首から下は少年のままこの宇宙船に乗り込んできたのだ。

「11人いる！」はSFのまぎれもない傑作である。傑作以上といってもいいだろう。その傑作以上の部分はすべてフロルの愛らしさによると僕は思う。そしてフロルの魅力は少女まんが、わけでも萩尾望都にしかつくりだせない愛らしさだ。僕はフロルの可愛さにひかれて、今回三回も「11人いる！」を読んでしまった。ひよつとすると少年時代の性未分化の時代に僕も戻ってしまったのかもしれない。

フロルのいる宇宙船なら僕もぜひ乗ってみたい、と思う今日この頃であります。

中島らも

一九五二年兵庫県生まれ。作家。笑殺軍団リリバット・アーミー主宰。朝日新聞「明るい悩み相談室」の回答者ほか多彩な分野で活躍。『今夜、すべてのバーで』で吉川英治文学新人賞、『ガダラの豚』で日本推理作家協会賞を受賞。近著に『白いメリーさん』『永遠も半ばを過ぎて』などがある。

Marginal

マーシナル

全3巻



西暦2999年、世界でただ一人の母が死んだ。
病んだ地球と夢の子供キラをめぐるSFロマン。



エッセイ：①安彦良和②井上雅彦③岡野玲子

ポーの一族

全3巻



赤いバラの咲く村にバンパネラの一族が住む…。
時を超え語り継がれる美しき伝説。歴史的傑作！



エッセイ：①小池修一郎②宮部みゆき③有吉玉青

小学館文庫で読む!! 萩尾望都

11人いる!

収録作品：続11人いる! / スペースストリート
★エッセイ：中島らも

スター・レッド

★エッセイ：小谷真理

トーマの心臓

★エッセイ：大原まり子

訪問者

収録作品：城 / エッグ・スタンド / 天使の擬態
★エッセイ：折原みつ

11月のギムナジウム

収録作品：秋の旅 / 塔のある家 / セーラ・ヒルの聖夜 他
★エッセイ：羽仁未央

ゴールデンライラック

収録作品：ばらの花びん / マリーン
★エッセイ：桑原知子

半神

収録作品：ラーギニー / スローダウン / 酔夢 / ハーバル・ビューティー / 偽王 / 金曜の夜の集会 他
★エッセイ：佐藤嗣麻子

とってもしあわせモトちゃん

★エッセイ：松本 隆

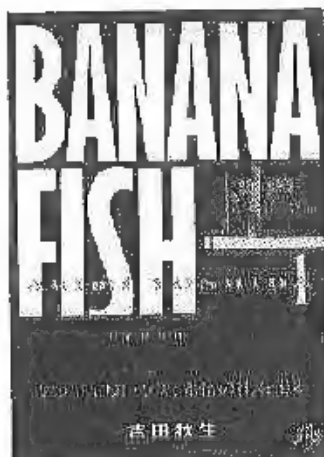
恐るべき子どもたち

★エッセイ：天野喜孝

ウは宇宙船のウ

収録作品：霧笛 / みずうみ / 集会 / びっくり箱 / 宇宙船乗組員 他
★エッセイ：谷村志穂





BANANA FISH

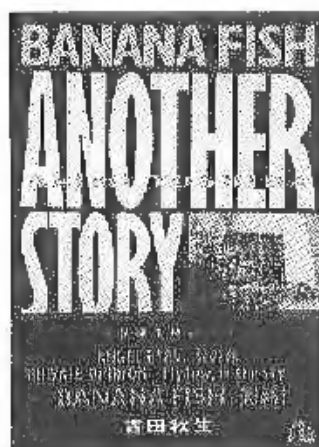
全11巻

アッシュ・リンクス、
バナナフィッシュの謎に迫る！



エッセイ：

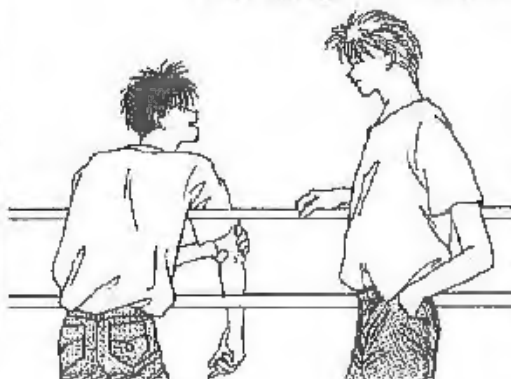
- ①坂本龍一②渡辺えり子
- ③横森理香④片岡義男
- ⑤まついなつき
- ⑥フレデリック・ショット
- ⑦山本コウタロー⑧山崎浩一
- ⑨澁谷司⑩吉田真田美⑪村山由佳



BANANA FISH ANOTHER STORY

全1巻

5つの番外編からなる
ファイナル・ストーリー



収録作品：ANGEL EYES
光の庭
PRIVATE OPINION
うら・BANANA
Fly boy, in the sky

エッセイ：岡田斗司夫



ラヴァーズ・キス

LOVERS' KISS

全1巻

朋章と里伽子。鎌倉の海辺の青春恋物語



エッセイ：有吉玉背

小学館文庫で読む 吉田秋生 **ル**

カリフォルニア物語

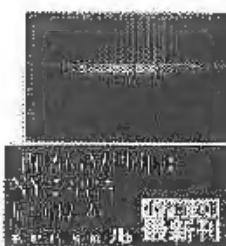
全4巻

西から来た少年ヒース、大都市の青春

同時収録：ホテルカリフォルニア①巻 夢の園④巻 ★エッセイ：①タケカフユキヒデ②中島梓×吉田秋生（対談）③大浦みずき④わかざえろ



カリフォルニア物語
吉田秋生



河よりも長くゆるやかに

全1巻

ニッポンの高校生、トシ、深雪、秋男
3人組の、わりしくタフな青春の日々

エッセイ：夢枕獏



吉祥天女

全2巻

天女の末裔・叶小夜子が街に帰って
きた。復讐の時は満ち悲劇が始まる

エッセイ：①香山リカ②呉智英



夢みる頃をすぎても

全1巻 エッセイ：真柴あずき

黄葉子シリーズ他、正々堂々の青春記

収録作品：楽園のこちらがわ 楽園のまん中では
はるかな天使たちの群れ 夢みる頃をすぎても
ジュリエットの海 解放の呪文 最後の夏

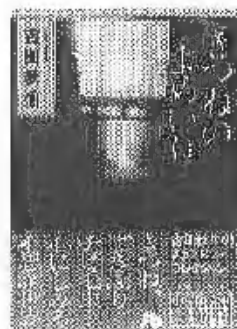


きつねのよめいり

全1巻 エッセイ：山本昌代

きつねの銀子ちゃんとオジロ君の恋物語

収録作品：夏の終わりに… 風の歌うたい きつねの
よめいり 十三夜狂奇談 さしきわらし のっぼのア
リス ちょっと不思議な下宿人 など全15編





11人いる! 〈新編集版〉

1994年12月10日初版第1刷発行（検印廃止）

2000年8月1日 第20刷発行

著 者 ————— 萩尾望都

©Moto Hagio 1994

発行者 ————— 辻本吉昭

印刷所 ————— 図書印刷株式会社

発行所 ————— 株式会社 小学館

101-8001 東京都千代田区一ツ橋 2-3-1

振替（00180-1-200）

TEL 販売 03-3230-5749

編集 03-3230-5456

●造本には十分注意しておりますが、落丁・乱丁（本のページの抜け落ちや順序の間違い）の場合はお取り替えます。購入された書店名を明記して「制作部」あてにお送りください。送料小社負担にてお取り替えます。制作部 TEL 0120-336-082

●本書の一部または全部を無断で複製、転載、上演、放送などを行うことは、法律で認められた場合を除き、著作者及び出版者の権利の侵害となります。あらかじめ小社あて許諾をお求めください。

㊞〈日本複写権センター委託出版物〉 本書の全部または一部を無断で複写（コピー）することは著作権法上での例外を除き禁じられています。本書からの複写を希望される場合は、日本複写権センター（TEL 03-3401-2382）にご連絡ください。

ISBN 4-09-191011-4